



(1) 各風組の法被。左から順に【中之島側】勇組・達摩組・五郎組、【今町側】葵組・五丁目組・旭組・横神〇組・神楽組・坂井町組・新町組・奴組

技能伝承会で得た経験を、今後の合戦に生かしていく

技能伝承会の運営を担った「見附今町・長岡中之島大風合戦協会」の今井敏昭会長と高山俊彦副会長に、技能伝承会を終えての感想を伺いました。

3年ぶりに見附の空に大風が舞ってうれしかったですね。できれば通常通り開催したかったのですが、中止が続いていた中でも、風揚げをやれて良かったと思います。久しぶりの開催だったので、私たちや風組も含め、所々にブランクを感じさせられる場面もありました。段取りが一つ崩れると、他もみんな崩れてしまうので、来年に向けて修正していきたいと思います。

大風合戦は、江戸時代から続く伝統行事。この伝統を後世につなげるためにも、今回の技能伝承会は、来年以降につながる有意義なものだったと感じました。

いまい としあき
今井 敏昭 会長



当日は風に恵まれてよかったと思います。風揚げOBの皆さんも応援に駆けつけてくれたので、心強かったですね。

今回は若手中心の風揚げだったので、未熟な部分もありましたが、ひとまず大きな事故が無くて良かったです。今後のためにも、若手にはベテランに頼りすぎるのではなく、自ら考え、行動する意識や責任感を持ってもらうことが大切だと感じました。

運営側としても、部会や風組同士の連携を強化していく必要があります。今回得た課題を教訓に、来年の大風合戦に向けて準備していきたいと思います。

たかやま としひこ
高山 俊彦 副会長



伝統と心意気を
次世代につなぐ

五丁目組（今町）
りょうだ じゅんぺい
両田 潤平 組長

見附今町・長岡中之島大風合戦協会
おやなぎ あきふみ
小柳 昭文 理事

大風合戦に長年携わる地域住民の声



たかはし ひろあき
高橋 博章 さん
(今町 1)

大切な大風合戦が
今後も続いてほしい

旭組の一員として大風合戦に携わり 65 年近く。合戦前に、地域で集まって年長者の技術を見て覚えたり、仲間とともに試作した大風を寺泊の砂浜まで運んで揚げたりと、風にはさまざまな思い出があります。大風合戦は地域のつながりを育む場であると同時に、地元を離れた人が里帰る貴重な機会でもあります。若手が減っている組もありますが、年 1 回の楽しみだからこそ、今後も続いてほしいですね。

先人の心意気を受け継ぐ

五丁目組組長として初めての風揚げに臨んだ両田潤平さん。新人組長ながら風にかける熱意は人一倍で、協会組員からも一目置かれています。今回の技能伝承会について、「糸付けや風の反り具合を調整するアブくれなど、技術の一つ一つをベテランの皆さんが丁寧に教えてくれる機会はなかなかありません。私自身も勉強になりました」と振り返ります。「次の担い手として若手も風を作って揚げられるように、しっかりと学んでいくことが重要だ

と思います。今回、若手中心で風揚げをする機会をいただけたので、自分たちが後輩へ教える自信にもつながりました」今後の大風合戦について両田さんは、「大風合戦は、まちの全世代が集う一大行事。地域のつながりをつくる場として、途切れさせず続けていきたいです」と意気込みを語ります。「技術はもちろんですが、先人の皆さんが伝えてきた『心意気』を後世へ伝えていくことが大切だと思います。大風合戦の技と心の両方を、若手の私たちが一粒となって今後も守っていききたいです」



受け継がれる技と心

3 年ぶりに見附の空を舞った六角風——。風揚げを担う風組の皆さんにとって、今回の技能伝承会はどんな意義を持っていたのでしょうか。大風合戦に 40 年以上携わってきた小柳昭文さんと、若手組長の両田潤平さんに話を聞きました。

風の技術と責任を後世へ

「大風同士を絡ませて繰り広げる空中戦こそ合戦の醍醐味。この 3 年間、風を揚げたくてずっとうずうずしてたんですよ」

大風合戦への思いを口にするのは、長年合戦に携わってきた小柳昭文さんです。大風合戦について、「ベテランは技術が身体に染み付いていますが、若手はそうはいきません。間が空くと、技術を忘れてしまう人も出てきます」と、風揚げの機会の大切さを強調します。

「糸付けの長さや、キャラの杭の打ち方など、なぜこの作業が必要なのかを一人ひとり自覚することが大切です。大風合戦には、一歩間違えると命にかかわる部分もあります。基本に忠実に、責任を持って取り組むからこそ、安全が保たれるんです」

若手に対し、「見附の大風合戦のスタイルを受け継いでほしい」と話す小柳さん。若手の今後の成長に期待を寄せています。「変えるべき部分は変え、守るべき部分は守っていくことが大切。その中で、技術だけでなく、地元の伝統や思いを受け継いでくれるとうれしいですね」